

けらおきのまるかんきょうぼぜんのかい
介良沖ノ丸環境保全の会

～次世代へつなぐ伝統稲作～農育と環境保全～



高知ファイティングドッグスの選手と田植え



地域住民と共同で行う水路での清掃活動

経 緯

- 生産者の高齢化や後継者不足対策、自然豊かな地域と伝統農業を後世へ継承しつつ新しい取組へ挑戦すること等を目的に、平成19年に「介良沖ノ丸環境保全の会」を発足。
- 平成20年「介良沖ノ丸環境保全農業組合」を設立し、連携して活動を実施。

取組内容

- 農作業体験や水田の生き物観察、地域住民等が参加する農作業イベントや収穫祭を通じ、児童が自然の大切さを理解するとともに収穫の喜びを感じる機会を作る。
- 白鷺をはじめとした水鳥の豊かな生態系を守ることを目指し、冬期湛水管理に取り組む。
- 100年以上続く二期作の伝統や技術を後世に伝えるため、二期作を継続。

活動の効果

- エコファーマーが生産した米は「白鷺米」としてのブランドを確立し、地区内の米の生産拡大だけでなく、近隣の生産者をも巻き込んだ農業の活性化を図っている。また、二期作米はゲームキャラクターとコラボ商品化したことで、普段農業に関わりのない人々から注目されることとなった。
- 農作業体験で栽培された米やジャガイモを学校給食に使用することで、子供たちの農業や食への関心が高まった。

応募団体からのアピール・メッセージ

国際水準GAPも実践しており、「農業者、消費者、環境にとってGoodな農業」に向けて食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理に取り組んでいます。